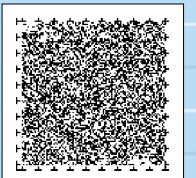


# 聴覚障害者のための 防災マニュアル



1995年阪神大震災 災害写真データベースより

静岡県聴覚障害者情報センター



# 日ごろからの準備

## 1. 非常持ち出し品の用意

数日間は物資の援助は期待できません。そのため最低3日間の飲料水や食料を蓄えておくことが必要です。

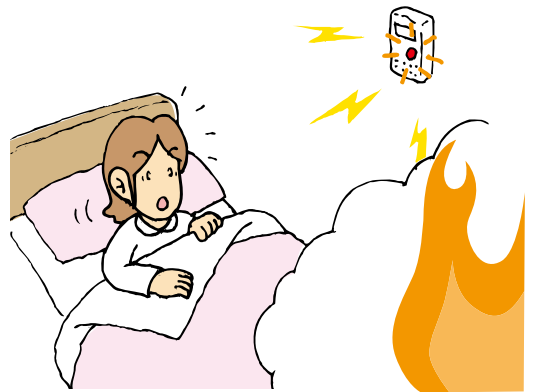
6ページで非常持ち出し品をチェックできます。



## 2. 住宅用火災警報器の設置

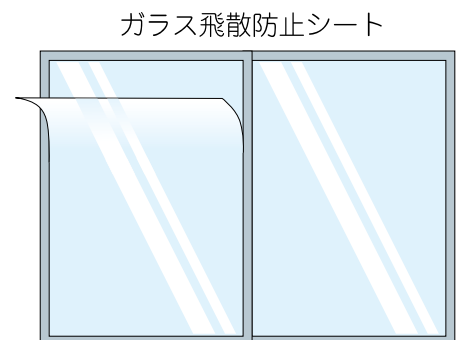
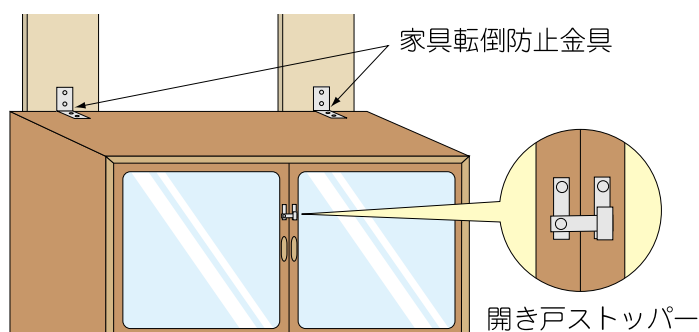
住宅用火災警報器は一般家庭に設置が義務づけられています。

ライトの点滅や振動で聴覚障害者にもわかる警報器があります。



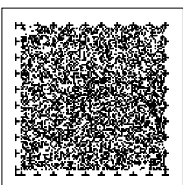
## 3. 家具の転倒防止対策

家具の転倒やガラスの飛散を防ぎます。地震などの災害に強い家にするのが大切です。



## 4. 家の耐震診断・補強工事

家の耐震診断・補強工事についてのご相談は市町で受け付けています。市町または静岡県聴覚障害者情報センターまでお問い合わせ下さい。



## 5. 地域との交流

近所の皆さんに、聞こえないことについて理解を広める事が大切です。

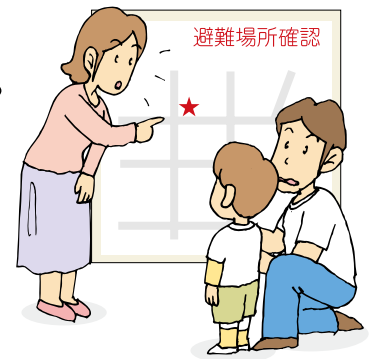
地域の防災訓練にも積極的に参加し、町内会や自治会、隣組などの集会にも出席しましょう。参加する際には、手話通訳者や要約筆記者の派遣が依頼できます。



## 6. 避難場所や避難方法の話し合い

災害時は家族が離ればなれになるかもしれません。家族全員で避難場所を確認しておきましょう。

会う場所や安全に避難できる道なども確認しておく、いざという時役に立ちます。



## 7. 静岡県災害情報配信サービス

静岡県では視覚・聴覚障害者を対象とした、携帯メールによる「災害情報配信サービス」を行っています。これは自分で情報を得る手段のひとつです。サービス内容は以下のとおりです。

- ・ 地震や台風などの情報
- ・ 東海地震警戒宣言の配信
- ・ 毎朝天気予報を配信
- ・ 視覚・聴覚障害者は登録無料

(携帯電話の料金や携帯メールの通信料は必要となります。)

ぜひ、静岡県災害情報配信サービスへの加入をお勧めします。

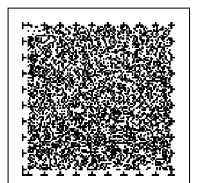
お問い合わせはお住まいの市町または静岡県聴覚障害者情報センターへ。

その他、各携帯電話会社独自の「災害用伝言板サービス」もあります。



## 8. 防災学習会への参加

地域の聴覚障害者関係団体が防災に関する学習会を開いています。積極的に参加して必要な知識を得ておきましょう。

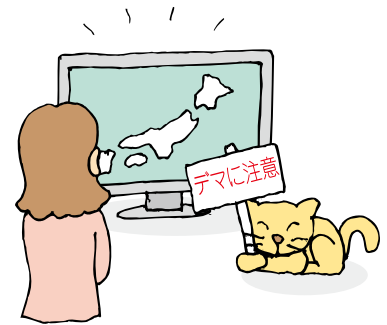


# 東海地震の警戒宣言が発令されたら…

警戒宣言が発令されると、みんなが一斉に行動をし始めるので、大きな混乱が起こることが予想されます。どのように行動したらよいか、日頃から確認しておくことが大切です。そして発令されたら、素早く安全に行動して下さい。

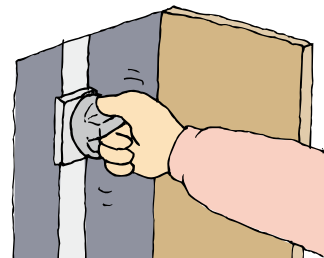
## 1.正しい情報を得る

- (1) 携帯電話の災害情報配信を確認
- (2) 字幕放送や文字放送で情報を確認
- (3) 根拠のない噂やデマに惑わされないように注意



## 2.火を出さないように

- (1) 火は使わない
- (2) ガスの元栓をしめる
- (3) 必要のない電気器具のコンセントは抜き、外出する時はブレーカーを切る。引火の恐れのあるものは、安全な場所へ



## 3.家の中を再点検

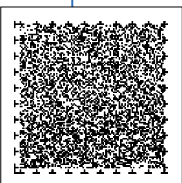
- (1) 非常持ち出し品の再点検
- (2) 避難口の確保、高いところにある物の片づけ
- (3) 水を張ったバケツの用意
- (4) 身軽な服装に着替え、靴をはく
- (5) 小学校や保育園、幼稚園へ子どもの迎え



### 警戒宣言とは

「2・3日以内（または数時間以内）にマグニチュード8程度の大地震（東海地震）が発生し、静岡県全域を含む地域が震度6弱以上の地震の揺れに襲われる」という警告であり、「大規模な地震の発生に備えて、安全の確保や準備を行ってください」という指示です。

（注）警戒宣言が発令されてから、地震発生までの時間が短いことも考えられます。



# 地震が起きたら…

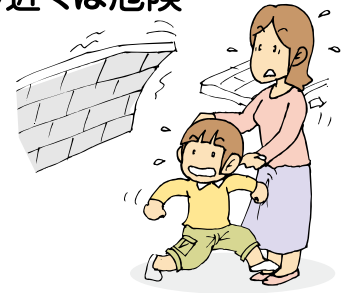
## 1.地震発生直後 あわてずに まず自分の身を守る

地震発生直後はわが身の安全確保が最優先です。本震の後に続いて余震が発生します。

### ■ 頭を落下物から守る



### ■ ブロック塀の近くは危険



### ■ 手すりなどにつかまる、柱に身を寄せる



### ■ 慌てて外に出ることは危険



## 2.揺れがおさまったら

自宅の火の元や近くに火事がないかを確認し、安全な場所に避難します。

地震発生時には携帯電話は使えないことがあります。

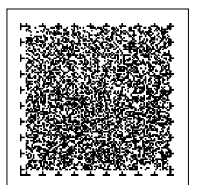
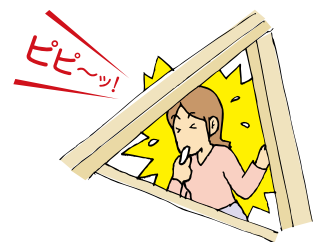
### ■ 消火活動はみんなで協力



### (1) 倒壊した家屋などに取り残されたら

音を出してまわりに知らせます。笛のほか、近くにある鍋などをたたいて音を出します。

いつも持っている携帯電話に笛や防犯ブザー等の大きな音の出るものをつけておくと安心です。



## (2)家を離れるときは

家を離れる際は戸締りを忘れずに。  
避難先が分かるようにしておきます。  
壊れた家に入るのは大変危険です。



## (3)避難所生活では、お互い助け合いの精神で

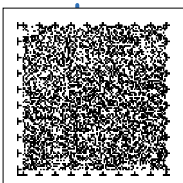
避難所生活では「聞こえないこと」をまわりに伝えます。  
地区の役員や消防団員の指示がわからない時には、遠慮なく聞くことが大切です。



手話通訳者や要約筆記者が、すぐに来るとは限りません。自分で身振り、筆談、手話、口話などで周りの人たちから情報を得ます。  
避難所ではお知らせが掲示されることが多いので、必ず読みましょう。



災害時には、ショックや不安でパニックになることが予想されます。また、色々なトラブルが起こりがちです。落ち着くまでお互いに助け合い、励まし合って頑張りましょう。



# 非常持ち出し品、備蓄品の確認




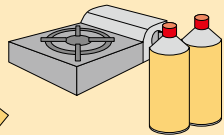
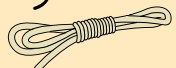

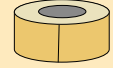
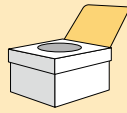
## 1. 非常持ち出し品チェックリスト（例）

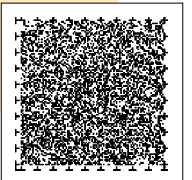
非常持ち出し品は家族構成を考えて必要なものを用意し、定期的に点検をし、いつでも持ち出せるところに置きましょう。

<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 予備の乾電池	<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災頭巾	<input type="checkbox"/> ゼッケンやハンカチ
				
<input type="checkbox"/> 非常食（3日分）	<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> ライター・マッチ	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー ・トイレペーパー	
				
<input type="checkbox"/> ナイフ・かんきり	<input type="checkbox"/> スプーン・はし・カップ	<input type="checkbox"/> 下着・くつ下	<input type="checkbox"/> 救急薬品・常備薬	
				
<input type="checkbox"/> 現金（硬貨も）	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 手ぶくろ	<input type="checkbox"/> 筆記用具・ノート （サインペンなど）	<input type="checkbox"/> 雨具
				
<input type="checkbox"/> 毛布又は寝袋	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> リュックサック	<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 携帯電話のバッテリー
				

## 2. 備蓄品チェックリスト（例）

備蓄品は地震発生後、安全に取りに来られる場所（物置小屋のような場所）へ保管しておく便利です。

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 食料品	<input type="checkbox"/> 衣類	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ（ボンベ）	<input type="checkbox"/> ロープ
				
<input type="checkbox"/> 一人あたり1日3リットルの水を3日分	<input type="checkbox"/> 7日分うち調理不要の非常食3日分程度	<input type="checkbox"/> 季節に応じジャンパーなど	<input type="checkbox"/> ビニールシート（敷いたり雨よけ）	<input type="checkbox"/> 布製ガムテープなど
				
				<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
				



制 作 静岡県聴覚障害者情報センター

**静岡県聴覚障害者情報センター**

静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館5階

電話 054-221-1257 FAX 054-221-1258

URL <http://www.e-switch.jp/szdi-center/>

